

岩手県立宮古北高等学校 平成30年度第2回学校評議員会

平成31年2月26日（火）本校大会議室で実施

学校評議員名簿（出席者）

氏名	所属（役職）
おおくぼ し ろう 大久保 士 郎	宮古市立田老第一中学校 副校長
た むら すが こ 田 村 清 子	宮古北高等学校 教育振興会長
はし かみ かず し 橋 上 和 司	三陸鉄道株式会社 旅客サービス部長

（本校職員の出席者）

熊谷 和 浩（校長） 佐々木 伸 良（副校長） 富手 明 美（事務長）
佐々木 和 彦（校務渉外課長） 植 木 淳（学習指導課長）
勝 又 靖（生徒指導主事） 兵 藤 一 仁（進路指導主事）
舞 田 寛 武（保健主事） 山 崎 満寿美（教育相談室長）
武 藤 秀 郷（総務課員）

（目的）

本年度の学校概況及び学校運営方針と、運営方針に基づいた各分掌の教育指導計画等を明示しながら、地域に開かれた特色ある学校づくりをより一層推進する学校活性化のための方策について意見を集め、本校教育の充実発展に寄与することを目的とする。

（学校概況説明）

学習指導… 年度途中から「日々課題（にちにちかだい）」に取り組み始めた。毎日、教科で課題を出題し、家庭学習の促進、学力向上、また、提出物を必ず出すということにしていけるようになってきている。習熟度別授業やチームティーチング、学習支援員による授業のフォローアップを通して、基礎的な知識・技能の習得を図っている。

進路指導… 生涯にわたって自ら学び続ける力、将来をデザインする力をつけられるよう指導する必要があると考える。就職希望の生徒は宮古管内を希望する割合が高い。ガイダンスで外部の方々にお話いただくことが生徒たちに良い刺激になっている。

生徒指導… 情報モラルについて、より効果的な指導法を模索していきたい。沿岸地区の高校生はスマートフォンの使用時間が長く、喫緊の課題である。宮北祭、オリンピック、全校遠足といった行事では、保護者や地域の方々との連携で成り立っている部分が多い。今後とも御協力をお願いしたい。

教育相談… 教育活動のユニバーサルデザイン化、生徒一人ひとりの困り感の把握に努めている。勉強ができないことは大きな悩みにつながる可能性があり、そうならないためにも「わかる授業」のための改善を進めている。昼休みに教育相談室に職員が常駐するような態勢を整え、生徒が気軽に相談できる環境づくりに努めている。

平成30年度県立学校復興担い手育成支援事業「応援団リーダー研修」について
…2月20日（水）～22日（金）実施 早稲田大学応援部より講師を2名招聘
写真スライドショーを上映し、研修の様子を評議員に見ていただいた。

(評議員助言)

宮北は、きめ細かい指導がなされている。今後も、生徒一人ひとりに活躍の場面を作っていただき、力を伸ばす教育をお願いしたい。

家庭学習時間を確保するため、小中連携で「ノー・メディア・デー」という取り組みを始めている。高校とも連携できればと思っている。

応援団リーダー研修の写真を見ると、指先までピンと伸びていて、3日間の成果が出ていたと思う。今回の研修が良きリーダーの育成につながるよう希望する。

「日々課題」について、年度途中からチャレンジすることは組織として難しい面もあると思うが、よく取り組んでいると思う。

三陸鉄道の乗り場が3月のリアス線開通に伴いJRと同じ場所になる。他の高校生も多く利用することから、駅周辺の巡回が必要と思われる。